

沖縄県立コザ高等学校 現代社会 シラバス

科目	現代社会	単位	2	学年	1	科目担当 宮城 富美子 仲宗根 義紀
使用教科書	「高等学校 現代社会」(第一学習社)			副教材等	「最新現代社会資料集」(第一学習社)	

学習の到達目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	評価の観点				評価方法
				a	b	c	d	
1	4 5 月	第1編 私たちの生きる社会 ①地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題について、よりよい社会を築くために解決しなければならない問題として考える。 地球環境問題が国際的な問題となっていることや、その解決に向けての取り組みについて理解する。 熱帯林伐採の考察を通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
		②資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> 資源の有限性について理解を深め、石油に代わる資源には何があるか、資源を有効に利用するためにどのようにしなければならないかを考える。 エネルギー政策を見直すとともに、新エネルギーの現状と将来について考え、毎日の生活を見直し、省エネルギーに努めることが重要であることを理解する。 資源・エネルギー問題への考察を通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
		③科学技術の発達と生命倫理	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術の発達は、社会や生活をどのように変えてきたかを考え、理解する。 医療の発達により、人類がはじめて直面する問題が生じていることを、具体的事例をあげて考察する。 生命倫理をめぐる問題について、どのようなものがあるかを理解し、それらについての知識を身につける。 生命にかかわる課題の考察を通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
		④高度情報社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> 高度情報社会とは何かを理解し、情報化の進展が社会に及ぼす影響について考える。 情報の活用や情報にかかわる諸課題を考察させることを通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
		第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 現代に生きる青年 ①青年期の意義と自己形成の課題 ②現代社会における青年の生き方 ③伝統や文化と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> 人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、青年期の心理の特徴について理解し、一人前の人間として自立するためには何をしたらよいかを考える。 青年期の意義や青年期の心理について、それらがどのようなものかを理解し、自分自身の問題として考える。 社会への参加について、具体的事例をあげて多角的に考察する。 なぜ生きがいを求めようとするのか、人生における職業の意味、社会活動の意義について考える。 伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考察する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	6	第2章 個人の尊重と法の支配 ①民主政治における個人と国家 ②基本的人権と法の支配 ③世界のおもな政治体制	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 基本的人権が保障されるにいたった経緯を、さまざまな情報手段で資料を収集し、具体的事例をあげて考察し、理解する。 世界のおもな政治体制について、真の民主政治の実現と関連させて考察する。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	6	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 ①日本国憲法の基本原理 ②平和主義と安全保障 ③基本的人権の保障と新しい人権	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 日本国憲法の平和主義の特色を理解するとともに、平和主義と日本の安全保障について、さまざまな情報手段を活用し、レポートをまとめる。 日本国憲法の平和主義の特色と自衛隊、日本の安全保障については、さまざまな立場からの意見があることを理解する。 自由権の意味や、社会権が私たちの生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かをさまざまな立場にたって考察する。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	7	④民主権と議会制民主主義 ⑤内閣と行政の民主化 ⑥裁判所と人権保障	<ul style="list-style-type: none"> 国会の地位と構成、権限について理解する。 国会の地位と構成について、インターネットなどの情報手段を活用して資料を収集し、レポートをまとめる。 議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解する。 議院内閣制のしくみ、裁判所の役割や裁判制度について、インターネットなどの情報手段を活用して資料を収集し、レポートをまとめる。 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
2	9	⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として具体的に考察する。 地方自治に住民はどのような権利をもっているか、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として理解し、その知識を身につけている。 政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、調査する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	9	第4章 国際政治の動向と日本の役割 ①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤国境と領土問題	<ul style="list-style-type: none"> 国際法の意義と役割について、多面的に考察し、理解する。 勢力均衡と集団安全保障体制の違いについて考え、国連の役割と課題について理解する。 国際連合の役割と課題について、インターネットなどの情報手段を用いて調査し、それらをもとにレポートをまとめる。 第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って整理し、理解する。 核兵器を廃絶するには何が必要かを考え、核兵器の開発・拡散の状況、廃絶するためのさまざまな取り組みについて、具体的事例をあげて多角的に考察する。 核兵器の問題についての知識を身につけ、それを廃絶するために何をしなければならないかを理解する。 国境と領土問題や日本の領土問題について、教科書の写真・地図を使用して理解する。 国境と領土問題、特に日本の領土問題についての知識を身につける。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	10	⑥地域紛争と人種・民族問題 ⑦外交政策と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> なぜ人種や民族の違いにより争うのかを主体的に考え、人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。 人種・民族紛争の実態、難民問題に関する資料について、さまざまな情報手段を用いて収集し、それらをもとに整理・発表する。 国際社会における日本の役割や、国際社会の一員として私たちは何をすべきかを考える。 国際社会の一員として何をすべきかを理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
2	10	第5章 現代の経済社会と私たちの生活 ①経済社会と経済体制 ②現代の企業 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解する。 ・企業・家計・政府はどのような活動をしているか、企業の社会的責任について理解する。 ・企業がどのような活動をしているのか、株式会社の特徴について調査し、まとめる。 ・市場経済のしくみについて理解する。 ・価格機構のはたらきについて理解する。 ・国民所得について、教科書に掲載されている図版を適切に使用し、理解する。 ・景気変動について理解する。 ・経済成長は生活にどのような変化を与えるかを、具体的事例をあげて考察する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	11	⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察し、主体的に考える。 ・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割について理解する。 ・日本の高度経済成長やバブル経済の要因について、理解する。 ・平成不況に対する政策を調査し、日本経済の課題について多角的に考察する。 ・技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	12	⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者が憲法や法律で守られている理由を考え、雇用事情の変化と労働条件や労働環境を理解する。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・日本の公害問題について理解し、公害問題と公害に対する国や企業の対応、公害を防止し環境を保全するための方策について考える。 ・消費者問題について、自分自身の問題として具体的事例をあげて考察する。 ・消費者主権とは何かについて考え、企業が消費者に負っている責任、消費者を保護するために国はどのような対策をとっているのかを理解する。 ・社会保障の意義を理解し、現代の社会保障の課題について考察する。 ・消費者問題、日本の社会保障について、さまざまな情報手段を活用して情報を収集し、調査した内容をまとめて発表したり、レポートを作成したりするなど、適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
3	1	第6章 国際経済の動向と日本の役割 ①国際経済のしくみと貿易の拡大 ②国際経済の動向 ③発展途上国の経済と南北問題 ④国際協調と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義、円高・円安の生じる理由、経済のグローバル化について考える。 ・円高・円安のしくみについて、身近な事例をもとにレポートを作成するなど、適切に表現する。 ・日本の貿易やアメリカ、アジアなどの貿易について理解し、貿易の拡大とそれにもなう貿易摩擦について、具体的事例をあげて考察する。 ・地域的経済統合をはかる動きが見られることを理解しそれによって何がもたらせるかを理解する。 ・南北問題の発生した原因について考え、発展途上国のかかえている問題について理解する。 ・発展途上国の人口問題や食料問題について、情報を収集し、調査した内容をまとめて発表したり、レポートを作成したりするなど、適切に表現する。 ・国際協力のあり方、国際経済の中での日本の役割について自分自身の問題として考える。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

年	月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
3	2	第7章 現代に生きる倫理 ①豊かな人生を求めて ②日本の伝統的なものの考え方 ③西洋の自然観と人間観 ④私たちの課題	<ul style="list-style-type: none"> 哲学や宗教の役割を理解するとともに、人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。 日本の伝統意識を理解し、生活の中での仏教や儒教、西洋思想の影響について、具体的事例をあげて考察する。 人間の尊厳や科学的なものの考え方、民主的社會を樹立するために必要な考え方の理解を深めるため、図版や原典資料を適切に使用する。 平等な社會の実現には、偏見を取りのぞき、主体的に努力することが求められていることを理解する。 差別を生み出す偏見について考え、それを克服して、ともに生きるために私たちは何をすべきか、自分自身の問題として考える。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	3	第3編 ともに生きる社会をめざして ケーススタディ① 税と社会 ケーススタディ② 発展途上国の貧困問題の解決をめざして ケーススタディ③ 人口問題と私たちの未来	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し、1枚の給与明細から税について考察したり、フェアトレードを通して貧困問題を考察したり、人口問題を通して私たちの未来を考察したりする。 調べた内容をまとめて発表したり、レポートを作成したりするなど、適切に表現する。 	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 レポート作成 発表 定期考査

令和3年度 倫理シラバス

科目	倫理	単位	2および3	学年	3	1・3・4・5・7・8組(2単位)	9・10組(3単位)
使用教科書	高等学校 改訂版 倫理(第一学習社)			副教材等	テオリーア最新倫理資料集(第一学習社)		

学習の到達目標	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としてのあり方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者とともに生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用技能	d. 知識・理解
人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲を持つとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身につけ、人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとする。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するように活用し、学び方を身につける。	青年期における自己形成や人間としてのあり方生き方などに関わる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身につけている。

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
4	1章 青年期の課題と自己形成 ①よく生きることを求めて ②青年期の課題 1-青年期とは何か 2-青年期の思考と感情 3-青年期の人間関係 4-青年期の自己形成	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質とは何かを理解する。 自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。 青年期の心身の特徴を把握するとともに、青年期の悩みの心理的特徴に気づき、悩むことが自己形成につながることを理解する。 高校生の意識調査の結果を分析し、そこに現れている現代の高校生の特徴を読み取る。 自分自身の心に起こる状態を防衛機制の図にあてはめて考え、粘り強く欲求を抑制し、調整しながら目標達成を図る必要性を理解する。 生きることの意味についていろいろな視点から考え、今後の自分の生き方に生かす知識として身につける。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
5	2章 人間としての自覚 ①ギリシャの思想 1-哲学の形成 2-ソクラテス 3-プラトン 4-アリストテレス 5-ギリシャ思想の展開	<ul style="list-style-type: none"> ギリシャの思想家のものの見方・考え方を理解することにより、古代ギリシャの思想は、私たちにとってどのような意味を持つのかを考える。 ソクラテスの「無知の知」やプラトンのイデア論はどのようなものであるか、両者を比較しながら考察する。 「ソクラテスの言葉」から「よく生きるこそ大切である」という彼の信念を読み取る。 アリストテレスの現実主義の立場を、プラトンのイデア論と対比しながら理解する。 ポリス中心の考え方に変わり、個人の内面的平安を求める思想が現れたことを理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
6	②キリスト教 1-ユダヤ教の世界 2-イエス 3-キリスト教の発展	<ul style="list-style-type: none"> 世界で起こっている宗教を原因とする争いを調べ、宗教とは何かについて、意欲的に考察する。 哲学や宗教の意義を考え、先人の生き方を手がかりに、どのように生きていくべきかを学ぶ。 イエスの思想をユダヤ教と対比させて、神の愛・律法の内面化という視点を中心に理解する。 キリスト教信仰の構造に関心をもち、キリスト教的な生き方や人間観の特徴を、興味を持って探究する。 キリスト教が愛の宗教であるといわれるのはなぜかを多面的・多角的に考察する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	③イスラーム	<ul style="list-style-type: none"> イスラームはどのようにして誕生したか、ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのか、ユダヤ教やキリスト教とはどのように関係するかを理解する。 メッカの方向を調べるなどして、イスラームの基本的教義(六信・五行)を実感する。 『クルアーン』を読み、日常の生活で行うことまで規定していることを理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
6	④仏教 1-インドの思想文化 2-ゴータマの教説 3-仏教思想の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・インドの人々はあるどのような死生観を持っているかを理解する。 ・ゴータマの教えは、深い思索を続ける生き方そのものであることを理解する。 ・日本に最もなじみの深い宗教である仏教の教えを知り、仏教思想の現代的な意義はどこにあるのかを考察する。 ・「ゴータマの言葉」を味わい、仏教の基本である、人間どうしが支え合いながら生きていくという視点を読み取る。 ・ゴータマが説いた縁起や四諦とは何かを理解する。 				○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
7	⑤中国の思想 1-中国の思想文化 2-儒家の思想 3-道家の思想	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の人々の自然観・人生観を理解する。 ・陰陽五行や風水など、身近なものにも中国の思想との関わりがあることを知り、中国の思想に対する興味・関心を高める。 ・中国の思想は、歴史的に日本に最も大きな影響を与えたものであることを知り、私たちの現在や未来にどのような関わっているのかを考察する。 ・『論語』の中の孔子の言葉から、中国の思想の根本を読み取る。 ・西洋と東洋の源流にある思想を比較して、人間の生き方について説いている内容の共通点と相違点を調べ、発表や討論をする。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
9	3章 国際社会に生きる日本人としての自覚 ①日本の風土と伝統	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人の精神的特性が、日本の風土とどのように関連しているのかを考える。 ・書籍や聞き取り調査などから日本の神話や伝承に関する諸資料を収集し、古代の日本人がどのような倫理意識を持っていたのかを理解する。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	②外来思想の受容 1-日本仏教の展開 2-日本儒学の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを把握する。 ・法然、親鸞、一遍、栄西、道元、日蓮に関する資料を収集し、鎌倉仏教の各宗派の教義や特色を理解する。 ・日本人の価値意識と儒教との関連について理解し、正の部分、負の部分をとともに検討する。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	③町人意識のめざめと庶民思想 1-義理と人情 2-国学の成立 3-庶民の思想 4-伝統思想の成熟	<ul style="list-style-type: none"> ・義理と人情、倹約と正直、勤労の倫理など、現代に流れる思想に対する興味・関心を高め、日本人の庶民思想や勤労倫理の特質はどこにあるのかに気づく。 ・国学の思想と私たちの考え方で、共通するところ、異なるところ、共感するところなどを発表する。 ・義理と人情の観念、国学が提唱した人間尊重の思想、現代に流れる庶民思想は、どういうものかを理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
10	④西洋思想との出会い 1-幕末の思想 2-明治の啓蒙思想 3-日本社会とキリスト教 4-近代的自我の確立 5-社会思想の展開 6-近代日本の思想課題	<ul style="list-style-type: none"> ・幕末の思想の特質や、文明開化が日本の伝統社会にどのような変化をもたらしたかを把握する。 ・日本の近代思想がどのように展開していったかを理解する。 ・日本人のものの見方・考え方の中で、西洋思想の受容によって形成されたと考えられるものについて資料を収集し、国際社会に生きる日本人としての生き方・考え方をまとめる。 ・日本思想のまとめとして、国際社会に生きる日本人として、これからの自分の生き方やあり方について考える意欲を高め、今後の生き方について考える。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査
	4章 現代に生きる人間の倫理 ①人間の尊厳 1-ルネサンスと宗教改革 2-人間性の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳に関わる思想家の思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを考える。 ・現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考える。 ・先哲の思想の中から、人間の尊厳に関わる資料を収集し、活用する。 		○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・ノート提出 ・定期考査

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
11	②近代の科学革命と自然観 1-近代の科学革命 2-経験論と合理論 3-近代科学と社会の進歩	<ul style="list-style-type: none"> 近代の科学はどのような背景から生まれてきたのかを理解する。 ベーコンやデカルトによる科学的な考え方の特色を理解し、科学技術の発達と自然との共生についての興味・関心を高める。 ベーコンやデカルトの著作を読み、自然は人間の手によって操作できるとする新しい自然観をつかむ。 経験論と合理論の考え方の特色はどこにあるのかを、自己の課題とつなげて理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	③自由で平等な社会の実現 1-社会契約の思想 2-人格の尊厳と自由—カント 3-人倫と自由の実現—ヘーゲル 4-功利主義の思想	<ul style="list-style-type: none"> 近代ヨーロッパの社会契約説を通して、民主社会の成り立ちを理解し、民主社会を実現した社会契約の思想について、多面的・多角的に考察する。 ホブズ、ロック、ルソーに関する資料を収集し、社会契約の思想の違いを整理する。 現在の政治的自由は、ヨーロッパ近代の市民革命を基礎づけた思想家たちの考えに基づくことを理解する。 カントやヘーゲルの思索の内容を整理して理解する。 西洋近代の思想家たちは、自由の実現についてどのように考えたのか、多面的・多角的に考察する。 ベンサムやミルの幸福に対する考え方の違いを理解する。 功利主義の思想からよく生きるとはどういうことかを理解し、自分自身の生き方につなげる。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
12	④人間性の回復と主体性の確立 1-社会主義の思想 2-実存主義の思想 3-プラグマティズムの思想	<ul style="list-style-type: none"> 社会主義の生まれた背景とその発展過程、現代の社会主義について考察する。 実存主義が追究した生き方とはどのようなものかを理解する。 主体的なあり方は、努力を伴う生き方であることを、実存主義の思想から考察する。 略伝や図版を活用して、思想家の人生をたどりながら思想内容を理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	⑤現代の思想と人間像 1-心の深層と無意識 2-生の哲学と現象学 3-近代的理性と言語 4-正義と社会 5-他者と偏見	<ul style="list-style-type: none"> 前節までの学習を踏まえ、現代の思想は、それまでの思想からどのような影響を受け、それらをどのように乗り越えようとしているかを考察する。 フロイトやレヴィン・ストローサーらの著作を読み、現代の思想が発見したり注目したりしてきたものは何かを理解する。 ロールズ、センらの思想から、私たちは何を学ぶことができるかを考察し、これからの生き方につなげる。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
1 2 月	⑥生命への畏敬と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> 実践された倫理を貫いた人々の生き方に対する興味・関心を高め、生命への畏敬や本当の愛とはどのようなものかを理解する。 さまざまな思想家の主張を振り返りながら、私たちの生き方はどのようなものであればよいのかを、多面的・多角的に考察する。 思想家の言葉から、自らの思想をそのままに生き、一生そのようにし続けた生き方をつかむ。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
	5章 現代の諸課題と倫理 ①生命の問題と倫理課題 1-生殖医療と遺伝子操作 2-脳死臓器移植と再生医療 3-自己決定の尊重と末期医療	<ul style="list-style-type: none"> クローン技術、遺伝子組換え、脳死臓器移植、安楽死と尊厳死、医療における自己決定権などのテーマから、探究したい課題を見いだし、多面的・多角的に考察する。 生命をめぐる問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 レポート作成 発表 定期考査
	②環境の問題と倫理課題 1-有限な地球環境 2-生物多様性と自然との共生 3-予防原則と世代間倫理	<ul style="list-style-type: none"> 地球規模だけでなく、身近なところで起こっている環境問題について調べ、有限な資源を未来の世代にも配分するには何をすればよいか、環境倫理の考え方はどのようなものか、などについて考察する。 地球環境問題、環境保護活動、循環型社会をめざす取り組み、将来の世代に対する責任などのテーマから、探究したい課題を見いだし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 ノート提出 レポート作成 発表 定期考査

月	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1 2 月	③家族・地域社会と倫理課題 1ー少子化と男女共同参画社会 2ー高齢化と地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢社会の問題点を、家族の形態や地域社会はどのように変化してきたか、それらに期待される役割とはどういったものか、などについて考察する。 ・核家族化や少子化の進行に伴う家族関係の変容、男女共同参画時代の夫婦のあり方、高齢者と地域社会のあり方などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・家族・地域社会をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・レポート作成 ・発表 ・定期考査
	④情報社会と倫理課題 1ー情報の洪水と情報リテラシー 2ーネットワーク社会と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会を生きていくために必要な能力、情報モラルに関する問題などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・高度情報化やネットワーク社会をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・レポート作成 ・発表 ・定期考査
	⑤宗教・文化と倫理課題 1ー宗教信仰への理解と現代世界 2ー異文化理解と多文化共生	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化を理解するためには、社会全体でどのような取り組みが必要かを考察する。 ・多様な外国人と交流する際の倫理的課題は何か、などのテーマから探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・グローバル化が進む現代において、異文化を理解するにあたり問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・レポート作成 ・発表 ・定期考査
	⑥国際平和と人類の福祉 1ー地球市民として 2ー平和な世界に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・各国間の経済格差の解消、自立を支援するための援助、難民や女性・子どもの人権保障、核兵器の廃絶など、人類全体の福祉実現に向けた取り組みを調べ、地球市民としての生き方を探究する。 ・頻発する地域紛争や民族紛争、難民問題、戦争と核兵器の廃絶の問題、などのテーマから、探究したい課題を見だし、多面的・多角的に考察するとともに、広い視野に立って主体的かつ公正に判断する。 ・人類の福祉をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に選択して活用する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」「自分の考えを文章にまとめる」などの方法で適切に表現する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・レポート作成 ・発表 ・定期考査

2021（令和3）年度 「政治経済シラバス」

「政治・経済」 シラバス	単位数	2単位・3単位
	学科・学年	普通科 第3学年

科目担当 宮城富美子 久場研吾

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 広い視野に立って、民主主義の本質について理解する。 2 現代の政治、経済、国際関係などの仕組みや動向などについて理解を深め、政治や経済の基本的な見方や考え方を身につける。 3 現代の諸課題について、多面的・多角的かつ主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民としての能力と態度を身につける。
使用教科書・副教材等	教科書：改訂版 政治・経済（数研出版） 副教材：最新政治・経済資料集（第一学習社）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	考查範
第1学期	4	政治経済の勉強について	<input type="checkbox"/> 学習の意義とガイダンス（年間計画・評価等説明）	テスト範囲の学習状況を自己評価する。	中間 考查
	5	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則 と日本国憲法	<input type="checkbox"/> 民主主義の成り立ちを歴史的観点、比較政治的観点から理解する。 <input type="checkbox"/> 各国の政治制度を理解し、近年の動きを考察する。 <input type="checkbox"/> 日本国憲法の成立過程や、三大原理、最高法規性などの日本国憲法の基本的な事項について理解し、具体的な事例に即しながら、その課題について考察する。 <input type="checkbox"/> 国会、内閣、裁判所の三権について、そのしくみや役割について理解し、その課題について考察する。		
	6				
	7				
	9	第2章 現代の国際政治	<input type="checkbox"/> 国際政治の動向、戦後国際政治の経緯、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解するとともに、国際平和や人類の福祉に寄与する日本の役割について考察する。 <input type="checkbox"/> 第二次世界大戦後の国際政治のあゆみを、概観して理解する。		

2 学 期	10	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと 特質	<input type="checkbox"/> 資本主義経済と社会主義経済の特徴やその変容について理解する。 <input type="checkbox"/> 市場経済の機能を理解するとともに、経済主体の中で政府が果たしている役割を理解する。 <input type="checkbox"/> 現代の金融、財政のしくみを理解し、その問題点を考える。 <input type="checkbox"/> 日本経済が直面する経済の諸問題を理解する。		中間 考 査
	11	第2章 国民経済と国際経済	<input type="checkbox"/> 国際経済の仕組みを理解し、その中で日本がどのような役割を果たしているかを考える。	テスト範 囲の学習状 況を自己評 価する。	期 末 考 査
	12	<input type="checkbox"/> 地球環境問題に対して、個人ができることを考える。 <input type="checkbox"/> 日本経済の位置を統計資料で把握し、国際貢献について考える。			
第3 学 期	1 2	第3編 現代社会の諸課題 センター入試対策	<input type="checkbox"/> 現代日本が抱える諸課題に対して、積極的に関心を持たせ、解決することへの方法を考える。 <input type="checkbox"/> センター入試の出題形式に慣れ、その解答方法を修得する。時間配分なども考慮する。	テスト範 囲の学習状 況を自己評 価する。	年 末 考 査
<p>【年間の学習状況の評価方法】 定期考査、提出物・授業への取り組み状況等を総合的に判断して評価を行う。</p>					

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追究する態度や客観的に考察しようとする態度を身に付けているか。	授業の取り組み、ノート
思考・判断	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、課題の本質や解決の方法などについて、広い視野に立って多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえながら公正に判断しているか。	ノート 定期考査
技能・表現	現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なマスメディアを通して収集し、役立つ情報を活用して学習の中で、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現できているか。	ノート 課題
知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や理論などについて理解し、その知識を身に付けているか。	定期考査、課題、小テスト